

当社技術陣によるプレスラインの遠隔メンテナンスサービスを提供します

# クリモト遠隔保守サービス

KURIMOTO Remote Maintenance Service

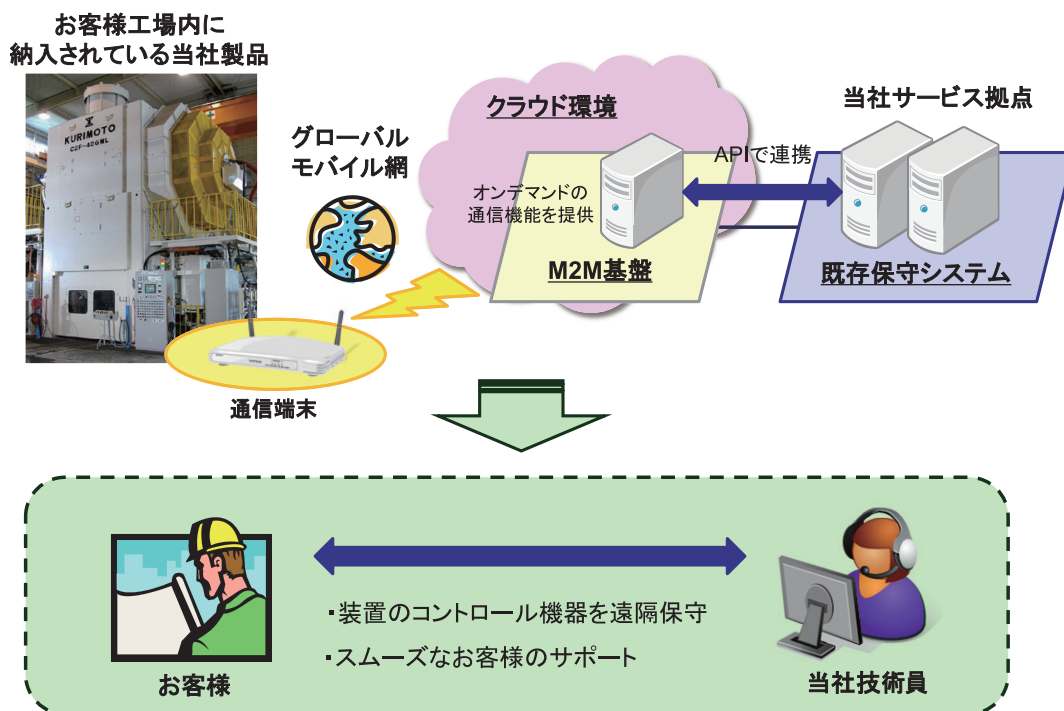


図1 クリモト遠隔保守サービスの概要

## 1. はじめに

近年加速するお客様のグローバル化に伴い、海外での生産設備においても、迅速なメンテナンスサービスを切望する声次第に高まっています。そこで、当社はこうしたニーズにいち早く応えるため、「クリモト遠隔保守サービス」（以下、本サービス）の提供を2011年8月から開始しました。本サービスでは、富士通株式会社殿より提供されるクラウド環境を利用することで、図1に示すように、お客様先に設置された鍛造用機械プレス「C2Fシリーズ」の保守情報をオンデマンドで取得する仕組みと、当社内の保守支援システムと

の連携を実現しました。なお、本サービスの技術仕様については特許出願中です。

## 2. 本サービスの特長

本サービスは、次のような理由から、ご検討の設備に手軽に導入いただけます。

### 1) グローバルなサービスエリア

本サービスは、携帯電話網によるデータ通信が提供されている地域であれば、世界中の多くの地域でサービスの提供が可能です。

### 2) 配線工事が不要

携帯電話網を通信手段として使用していますので導入が簡単です。従来のように大掛かりな配線工事

等は必要ありません。

### 3) セキュリティへの配慮

当社専用の保守用ネットワークを布設しますので、お客様社内でセキュリティポリシーを変更いただく必要がありません。

## 3. 本サービスのメリット

図2に示すように、本サービスを導入することで、お客様は、従来と比べて、次のようなメリットを得ることが可能となります。

### 1) トラブル対応時間の最小化

本サービスの提供により、トラブル対応にかかる総時間を最小化し、復旧をより迅速に行うことができるようになります。

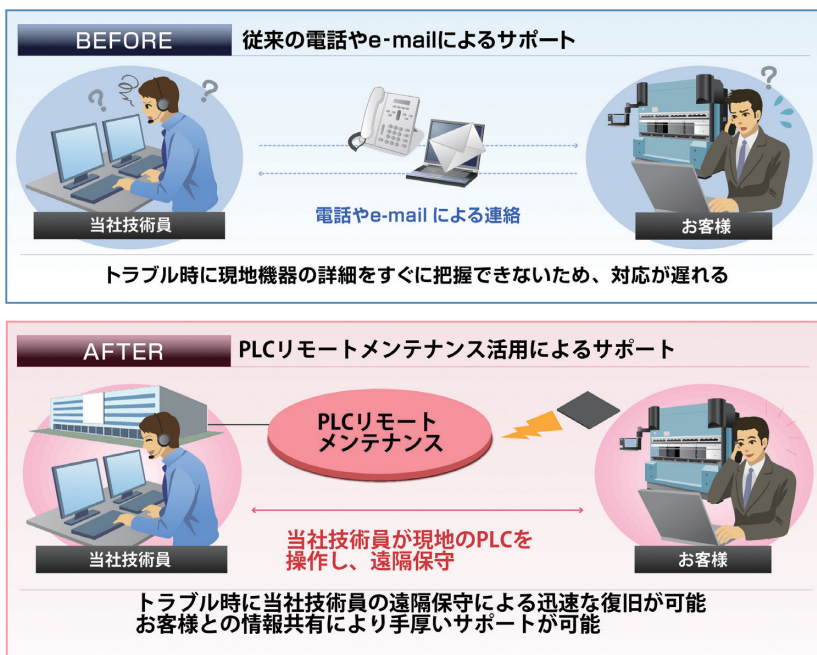


図2 クリモト遠隔保守サービスの導入メリット

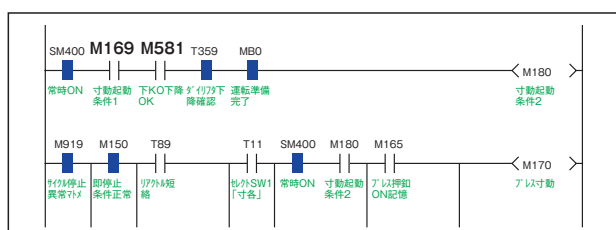


図3(a) 遠隔保守例：運転パターンプログラムの変更前

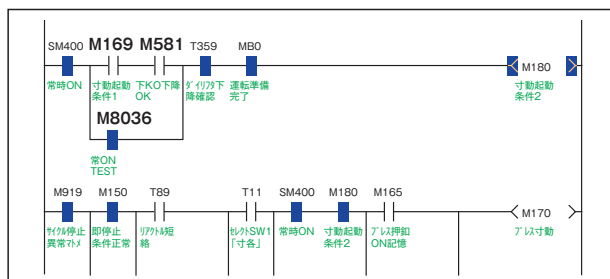


図3(b) 遠隔保守例：運転パターンプログラムの変更後

2) トラブル対応工数の削減

機械の状況を把握するための調査や復旧作業に必要となるお客様の工数を削減することができ、本来の業務へより注力いただけるようになります。

3) トラブル事例の共有化

お客様と同じデータを参照しながら、トラブル事例を共有化することができ、より効率的なトラブル対応を進めることができます。

4. 遠隔保守の一例

図3(a)に示した変更前プログラムにおいて、接点M169、M581に動作不具合があると仮定します。そのような場合において、図

3(b)に示すように、接点M169、M581に並列に常時オンの接点M8036が挿入されたプログラムとなるように、遠隔地にある当社側の保守端末から操作を行うことができます。なお、本操作はお客様と対話をさせていただき、安全上の確認が取れた後に行います。本例は単純な保守の一例ですが、原因究明に多くのヒアリングや実機の確認作業を要する複雑なトラブルにおいても、お客様と正確なデータを共有しながら状況把握を行い、迅速に復旧作業に当たることができます。また、その後の保守計画についても効率的に行えるよう支援をいたします。

5. おわりに

今後は、本サービスの対象となる製品、用途、地域などを拡大するとともに、設備稼働情報に基づいた製品開発や予防保全提案を行っていくことで、お客様の製造ラインが海外でも効率よく安定稼働できるよう取組んでまいります。

製品取扱営業窓口：

機械システム事業本部 機械事業部  
鍛圧機部 大阪営業課  
TEL 06-6538-7676  
海外営業部 鍛圧機海外営業課  
TEL 06-6538-7493